

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.10 (1961. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19611001-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

捕えてきた男から「お前はとんまだ」と言われ、だまっていればいいものを「みんな、おぼえていてくれ、わしはとんまだとー」と大声をはりあげる男、シェークスピアのむださわざに出てくるドッグベリイである。そのくせ御ほうびの金包を投げられると、ひょいと受けとってゆく(私のみた Jola Grelgard 演出)。「いい男前は境遇の賜物さ、だが読み書きのできるの生れつきさ」(三幕三場)というかれのことばを引いてマルクスは、交換価値と使用価値の混同を皮肉った(資本論一巻一章四)。ドッグベリイの名は一巻三章注一九〇にもみえているから、マルクスのお気に入りかもしれない。

価値対象性の把えにくい点にはクイックリイ夫人が引かれている(一巻一章三)。この夫人はヘンリー四世、五世、ウインザーの陽気な女房たちに出ているので、マルクスがどれをみて思いついたのかはわからないが、ウインザーとみるのが普通であろう。カウツキーの平民版では、ファルスタッフの女友達という説明が入れている。もともとこの夫人は、種本はあったにしても、シェークスピアの創造した人物でその名も「すばしこ夫人」、三つの劇に共通の性格をもっているからどれをみたかはさして重要ではない。それにしてもロンドンのマルクスはどんな顔をしてシェークスピアをみていたのであろうか。

本号は特集の逆を行き、理論あり政策あり学説あり、最後に思想史? を付加する。

(矢内原)

昭和三十六年十月一日 発行

◎ 三田学会雑誌 第五十四卷 第十号

定価 九〇円(送料)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 山本 登

電話三田(局)五一八一
振替口座番号 東京四四〇五六

東京都港区芝三田豊岡町八番地

印刷者

図書印刷株式会社

安倍七郎

半年予約購読料(送料共) 五四〇円
一カ年 " " 一〇八〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田綱町一番地

発売所 慶應通信

振替口座番号 東京一五五四九七